

平成30年度 地域振興推進費活用事業一覧

上田地域振興局

地域資源の活用・磨き上げによる観光振興(観光地域づくり)						
1 地域資源の活用・磨き上げ・情報発信						
整理番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課	
2	農業資産の魅力発信プラットフォーム構築事業	地域資源を活用した地域の魅力アップを図るため、ため池、棚田、疏水(農業用水)など農業資産の魅力を発信するためのプラットフォーム(魅力発信の基盤)を構築し、観光資源等としての情報発信を行う。	1,132	地域で活動する多様な主体との協働でPR動画を作成し、ため池や棚田を観光資源として活用する取組を支援した。動画は、県ホームページ、県庁・銀座NAGANO4Kディスプレイ、上田電鉄上田駅での常時放映の他、イベントや旅行商談会等で積極的に活用し、地域資源を活用した取組をPRした。	農地整備課	
6	生物多様性を活かした体験型観光等振興事業	標高差が大きい地理的特性を活かし、自然と身近に触れあえる体験型観光を推進するため、上小地域に生息する多様な生物を紹介する「四季別生物ガイドブック」を作成し、観光案内所等に配置するとともに、観光関係機関と協働しながらPRを行う。	257	特色ある動植物などを紹介する四季別のガイドブック「信州うえだの生きもの」を作成し、関係者に配布した。多くの方から入手希望の問い合わせを頂いており、観光・学習目的など様々な場面で活用されつつある。	環境課	
2 ヘルスツーリズムの推進						
7	上田地域の特色を活かした体験型・滞在型ツーリズムの推進	高原・温泉等の観光資源や取組を活かして、旅をきっかけに心身がリフレッシュし、健やかに楽しめる体験型・滞在型観光コンテンツの充実を図り、地域づくりに活かすため、「上田地域ヘルスツーリズム推進協議会(仮称)」を立ち上げ、観光資源を磨き上げる検討会議の開催、イベントの実施、人材育成のための先進事例の研究等を行う。	117	事業推進母体となる「信州上田地域健康パーク(上田地域型ヘルスツーリズム)推進協議会」を立ち上げ、体験・滞在・周遊型観光コンテンツの充実を図るための官民学協働による検討を進めた。管内主要観光地にて地域のコンテンツを直に体験したり、外からの目線によるワークショップ検証を行うなど、年4回の開催を通じ構成員間の連携を深めるとともに、温泉地の活性化に係る議論・検討を行い、次年度以降の具体的な取組に繋げることができた。	商工観光課 ※上田保健福祉事務所、上田建設事務所との連携事業	
4	世代別健康に配慮したメニュー開発・普及	食を通じた健康づくりと地域の活性化を図るため、世代別健康に配慮した料理の検討、開発を行い、そのレシピと実践のための情報をまとめ、脂質・食塩摂取量の抑制と野菜摂取量の増加等の啓発媒体を作成する。また、作成した媒体を活用し、料理講習会等を行うなど普及啓発を図る。	1,681	世代別メニューを開発しリーフレットを作成した。媒体を活用した普及啓発については、出前講座や料理講習会のみならず、企業の社員レストランでの提供や企業の保健指導での活用、社内掲示等へも広がるとともに市町村や関係機関・団体等と連携した普及啓発にも拡大しつつある。	保健福祉事務所	
12	働き盛りのための運動セミナー	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と、運動を自発的かつ習慣化することによる健康の維持を図るため、企業や各種団体等に働きかけ、働き盛り世代を対象とした運動教室及び指導者講習会の開催、文化財を巡るウォーキング支援等、日常的にスポーツに親しむきっかけづくりや環境づくりを行う。	262	運動教室への講師派遣(9回、参加者数延べ202名)、ヨガ・瞑想等のスポーツ指導者養成講座の開催(2回、参加者数延べ22名)、「文化財ウォーキングマップ」のホームページ掲載による利活用環境の向上、運動用具の貸出(延べ23回(企業・団体12回、小中学校11回))等を実施し、スポーツ活動の習慣化を促進した。	東信教育事務所	
3 インバウンド誘客対応						
14	外国人留学生と考えるインバウンド促進事業	管内大学等の協力を得て、外国人留学生目線による観光資源の発掘及び外国人観光客の満足度を高める受入環境の整備を目的に、既存観光コースの留学生によるモニターツアーを実施し、外国人留学生の意見を反映した観光マップを作成・配布、既存観光コース及び公共サイン設置への提言を関係機関へ提出する。	1,135	外国人留学生モニターバスツアーを2回実施し、交通手段の重要性、伝統文化体験型観光のニーズ、公共サインへの英語表記・イラスト表示の必要性など幅広い提言を得た。提言は関係機関と情報共有を図った。参加者数：延べ42人(ベトナム人14人、中国人28人) モニターバスツアー参加者からの観光地等に対する意見を反映した5言語の観光マップを作成・配布した。作成部数：日本語・英語・中国語(簡体字・繁体字)以上各2000部、ベトナム語1000部)	企画振興課	

交流と地消地産や産業振興による地域の活性化

1 人材交流によるコミュニティ活性						
整理番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課	
5	上田地域移住・交流促進事業	若者や子育て世代にターゲットを絞り、首都圏での移住セミナーの開催や移住体験談の発表、また、移住希望者へのアンケートを実施するなど、現状分析を行うとともに、地域が求めるターゲットに向け、移住に関する情報発信について研究を行う。	134	上田地域がコンパクトにまとまっていることを体感してもらうために、管内4市町村と共催して移住体験ツアーを開催し、移住希望先を上田市だけでなく、近隣市町村へも広げてもらうことができた。銀座NAGANOでのセミナーでは仕事と暮らしをパッケージでプレゼンし、参加者に具体的なステップを確認してもらうことができた。アンケート調査を行い、移住希望者の情報収集方法等について把握することができた。	企画振興課	
8	若者の定住・就業促進策の研究	当地域の特徴である大学等の集積を活かし、若者に対する魅力ある街づくりを推進するため、上田地域内の大学等と協働して、若者の定住・就業促進に必要な支援策や環境整備策等について研究する。	1,295	上田市内の4つの大学等の学生を対象に、上田地域に対する意識、将来の暮らしのあり方等についてアンケート調査を実施して、基礎的データを得るとともに、上田地域の企業を対象に若者の定住・就業に対する考え方等について聞き取り調査を実施した。さらに、調査結果の報告会を実施して、関係者による意見交換を行い、研究報告書としてとりまとめた。	商工観光課 企画振興課	
2 地消地産の推進						
10	農産物直売所の魅力アッププロジェクト	農産物直売所の情報発信力・知名度の向上及び魅力アップを図るため、相互交流による連携強化、魅力アップ対策等の検討、研修会の開催等を実施する。 併せて、直売所の利用者数及び売上額の増加を目指す。	54	研修会を開催し、参加者は表示の重要性(逆転の発想、良いところを強調など)を認識した(参加者75名)。アンケート結果では、早速取り組みたいとの意向が多数あった。 また、子育て中の30代主婦の料理離れ対策、直売所での試食体験等の重要性など、ファン獲得対策や地元産利用促進策を講師から指摘いただいた。	農政課	
13	上田で進めるジビエの未来開拓事業～シカ肉の魅力をもっと多くの皆さんへ～	管内の飲食店等の調理業務従事者を対象にシカ肉料理の研修会を開催し、新たなシカ肉メニュー開発の働きかけと、新メニューの提案の場となる審査会を開催。 研修会及び審査会の開催において、プレスを通じてPRを行い、野生のシカ肉の魅力を発信する契機とする。	531	研修会参加者が審査会に参加し、ジビエ料理に参入したほか、ジビエ料理に取り組む方々の交流が広がり、料理のレベルアップにつながっている。また、入手方法についてもあわせて情報提供を行い、需要拡大の礎を築くことができた。	林務課	
9	上田・佐久北部地域食料自給圏消費実態調査	地消地産を推進するため、生産加工する農産物の地域内での消費実態を明らかにし、上田・佐久北部地域の地消地産に関する基礎的データとして活用することにより、消費者から選ばれる地域産品や地域内循環の拡大を促進し、地域の振興につなげる。	500	消費実態調査を実施し、大豆を地域内循環する取り組みについて、経済効果試算ができたことで、地域貢献への見える化が図られた。また、地域内循環のモデルとして、生産+加工+流通+消費の連携を進めるためのツールとして活用可能となった。	農政課 ※佐久地域振興局との連携事業	
3 ワイン産業の育成・振興						
1	千曲川ワイン振興プロジェクト	ワイン用ぶどう栽培者の生産技術向上と千曲川ワインバレーの知名度アップを推進し、ワイン主産地としての地位向上を図るため、ワイン用ぶどうの栽培講習会・生産者交流会を開催するとともに、ワインパンフレットの首都圏等での配布活動を実施する。	549	ワインパンフレットは平成29年度に作成した10,000部の在庫がなくなったため、平成30年度に10,000部を増刷。増刷分も7,400部を配布し、情報発信を行うとともに、ワイン産業振興のツールとして、関連施設等の需要に応えることができた。 生産者交流会では、市町村を単位とした栽培者等によるグループの情報交換等を実施し、今後の交流の活性化等が期待できる。	農政課 企画振興課	
4 林業振興と東信カラマツの販路拡大						
11	森林認証材利用拡大推進事業	森林認証(FM森林・CoC認証)の意義を県内外の自治体や民間企業に普及・浸透させ、地域内で生産された森林認証材の利用拡大を図るため、信州木材認証製品センター等と連携し、地域内や首都圏等においてPR活動を実施する。	300	森林認証・認証材のPR活動等を地域内で11回、県外で9回(うち1回(7日間)は県内各地の協議会等と連携して)実施。 これにより県内各地の協議会や工務店との連携強化に発展するとともに、東京都の自治体や公立学校による認証森林や認証材の活用に発展することができた。	林務課	

個別の現地機関で処理する課題

整理 番号	事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
3	信州ACEプロジェクト発信事業~健康課題見える化	管内の健康づくりを推進するために、県で見える化した健康課題に関する管内データ等をわかりやすく地域に周知し、共有するとともに、信州ACEプロジェクトを浸透させることで健康づくりの気運醸成を図り、健康課題解決にむけての実践を促す。	100	健康課題を分かりやすくまとめたリーフレットを作成した。関係者と管内の健康課題が共有でき、今後の周知と実践について理解を得ることができた。 地域の健康課題に併せて、企業の健康づくりの取組事例を記載することにより、働き盛り世代の健康づくりの具体的な実践を広げていくためのつながりができた。	保健福祉事務所
合 計			事業費 (千円) 8,047		